

まちが学び舎 Letter

“ふるさとから豊かな生き方を学ぶ”「ふるさと・キャリア教育プロジェクト」

2021.7.6

担当：学びの場クリエイター 西村



7月1日（木） 伊与喜小学校5・6年生
「松田弦さんのギター演奏会」

先生は、黒潮町出身のプロクラシックギタリスト松田弦さん。クラシックギターの音色の豊かさやそれぞれの曲の背景、これまでの色々な経験など、松田さんからたくさんのことを学んだ時間でした。

- ・バッハは一般的な名前が「小川太郎」のような感じ。バイスはその友達で、トレモロ奏法を發明した人（300年前の有名な人に、親近感！）
- ・ギターは何で、どうできている？杉や松、ローズウッド。弦は釣り糸と同じ素材。（さらになんと、ギターを分解して見せてくれるとは！）
- ・「今日は水のテーマの曲を」と、『ラグリマ（涙）』と、『アルハンブラ宮殿の思い出（噴水が有名）』の演奏。涙はどんな種類がある？（「うれしい」「悲しい」「くやしい」とみんなの声）表現を変えながら演奏してみますね。トレモロは長く響かせるための奏法で、やわらかさが大切。練習すればできる。（すごい！！）



・前回と同じ『白雨』をもう一度。「真っ暗だった」「何も思いつかない」の声にも、それもおもしろい。感じ方は、環境や時間、場所、季節でも変わるよね。（前回も今回も雨の日でした…）

・ギターは小さなオーケストラでもあり、バンドにもなるよと、『紅蓮華』の演奏。

作者や曲の背景、演奏者の想いが分かると、音楽もより味わい深く感じます♪

さらに、音楽の時間にギターとドラムをそれぞれ練習している5・6年生。最後には、「伊与喜バンド」で松田さんと一緒に演奏ができてよかったですね！！次回に向けて、がんばるエネルギーになったでしょうか？



松田弦さんと伊与喜っ子のセッション♪♪



2度目の出会い



手の動きに見入ってしまいますね



静かな雨音の中で、目をつぶって演奏を聴く



みんなで、目をつぶって音の世界を味わう



最後は一緒に演奏！



こう指を動かすといいよ



自分たちで栽培した玉ねぎのお土産をどうぞ

まちが学び舎 Letter

“ふるさとから豊かな生き方を学ぶ”「ふるさと・キャリア教育プロジェクト」

2021.9.8

担当：学びの場クリエイター 西村



9月7日（火）

伊与喜小学校 5・6年生、佐賀保育所 ぞう組

「松田弦さんのギター演奏会」

伊与喜小での3回目の松田さんの演奏会は、近隣の佐賀保育所の子どもたちも招待しました。

・初めて松田さんに会い、クラシックギターの演奏を聴いたぞう組さん。表情やまなざしから、ドキドキしたり、ワクワクしたり、ゆったりしたり、いろいろな気持ちを感じました。ギターのやさしい音色に合わせて、やさしい声で歌ってくれて、松田さんも喜んでいました。



・3回目の”再会”で落ち着いた5・6年生ですが、きっと内心は、演奏への緊張でいっぱいだったでしょう。松田さんとの特別共演は、最初から最後まで、流れに乗った立派な演奏でした♪前回の時より何倍も堂々としていて、たくさんの練習の成果を感じました。感想にもあったように、本当に「よい思い出に」になりましたね！



松田弦さんと伊与喜っ子のセッション♪♪

・松田さんのお話にも、いろいろなメッセージがありました。「みんなツメの形がちがうから、同じギターでもそれぞれちがう音が出るよ」「音楽を聴いたときに想像することも、みんなそれぞれ。いろいろあるのがおもしろい」。そして、最後の曲『パサーへ・アビエルト（開かれた道）』と共に「みんなはこれからなんでもできる。大きな可能性があるから、やりたいこと・好きなことをたくさんしてね。人生を楽しんで！」

黒潮町のステキな先輩と、音楽を通してすばらしい経験ができましたね☆



初めての出会いにドキドキ・ワクワク



自分のツメで弾くがで。ほら、伸びている…



落ち着いている(ように見える?)5・6年生



え?釣り糸と同じ?(ギター弦に親近感)



みんなで目を閉じて、『風色ベクトル』という音楽の世界へ



堂々としていて、すばしかったです!



プロのギタリストとの共演☆

まちが学び舎 Letter

“ふるさとから豊かな生き方を学ぶ”「ふるさと・キャリア教育プロジェクト」

2021. 10. 28

担当：学びの場クリエイター 西村



10月25日（月）

大方中学校3年生「松田弦さんのギター演奏会」

先生は、黒潮町出身のプロクラシックギタリスト松田弦さん。クラシックギターの音色の豊かさ、色々な経験や、それぞれの曲の背景など、松田さんから、たくさんのことを学んだ時間でした。

・クラシックギターは自分のツメで弾くので、同じ楽器でも人によって音色が全く異なる。

・ギターは「小さなオーケストラ」。いろいろな奏法に、みんなで「おー！！」と驚きました。さらに、1つの手で、指ごとに3つのパートを弾き分ける… すごい！

・ギターは何でできている？表は杉や松、裏はローズウッド。弦は釣り糸と同じ素材。（知ると親近感がわきませんか？）

・曲は、奏法が豊かな『粉屋のおどり』、長く響かせるトレモロ奏法の『アルハンブラ宮殿の思い出』、“みんなが知っている”『鬼滅の刃』の2曲。炎や情熱を意味する『フォーコ』（曲の背景などを知ると、音楽がより味わい深く♪）

・目をつぶり音だけに集中して聴いた『風色ベクトル』。…「草原」「まど」「だれもないような感じ」「山の中」「砂漠」「人類の進化 (!!)」「都会の本屋さん（先生）」同じ曲を同じタイミングで聴いても、それぞれ違う感じ方。全然知らない曲でも、想像してみるとおもしろい！

・「ギターを始めたきっかけは何ですか？」との質問に、大方中時代はサッカー部。クラシックギターを始めたのは中3の進路を考える頃、テレビで高校生のギターコンクールを見て憧れたから。（中学生のみんなには無限の可能性が！）



あの演奏を生み出す、プロの手とツメを見る

世界で活躍する中学校の先輩、そのプロの演奏を間近で味わう素晴らしい経験ができましたね♪



こんなに近くで、世界の音色を感じられるとは！



手の動きに見入ってしまいますね



演奏をまっすぐに見つめる、みなさんのまなざしが印象的でした



静かな雨音の中で、みんなで目をつぶって



想像力で音だけの世界を味わう



タイのコンクールの賞品で得た大事な楽器



こちらは“なつかしい”大方中学校の楽器

まちが学び舎 Letter

“ふるさとから豊かな生き方を学ぶ”「ふるさと・キャリア教育プロジェクト」

2021.11.11

担当：学びの場クリエイター 西村



あの演奏を生み出す、プロの手とツメを見る

10月29日（金）上川口小学校4～6年生

「松田弦さんのギター演奏会」

先生は、黒潮町出身のプロクラシックギタリスト松田弦さん。クラシックギターの音色の豊かさやそれぞれの曲の背景、これまでの色々な経験など、松田さんからたくさんのことを学んだ時間でした。

・松田さんのギターの演奏はもちろん、お話にも、みんなが興味しんしんで、引き込まれている様子が伝わってきました。音が生まれる、松田さんの手元をじっと見て、聴いていましたね。

・目をとじて、耳だけに集中した『白雨♪』
「夜にお母さんにおこられて、外に出て散歩している感じ」

「最初は静かな感じ。一人で家において、ロウソクの明かりでごはんを食べているような、こどく」

「昔のふるさとにもどってきた感じ」

「ちょっとずつ雨が強くなった」

「雨をなみだみたいに感じた」

次々に発表した、曲から感じたストーリー。みんなの感性と表現に、びっくりしました！！

松田さんが「同時に聴いても、みんなちがっているいろいろあっておもしろい。歌がないので自由に想像できる。知らない曲も楽しくなるし、本や絵も想像すると楽しいよね」と言ってくれたように、その次の『フォーコ♪』も、目をとじて聴いている人がいました。（何が想像できましたか？）

・そしていよいよ、【ギターレッスン☆】 見る・聴くだけでなく、触ってみる・やってみると、難しさも感じますね。松田さんの演奏を、さらにスゴイ！！と感じたことでしょう。

・旧伊田小学校の先輩、プロのギタリストと一緒に、素晴らしい経験になりましたね♪
もっとギターをやりたくなりましたか？



演奏する松田さんを、じっと見つめるみんな



目をとじて、音だけに集中して想像して…



ギターをかまえるみんな、かっこよかったです☆



少しだけ、“一緒に演奏”☆☆☆



分解したギターで、ギターの中も見せてくれました



レッスンのために全てのギターを調弦してくれました



楽しいコンサート、素晴らしい体験になりましたね！



きちんとお願いして、サインを(^^)

まちが学び舎 Letter

“ふるさとから豊かな生き方を学ぶ”「ふるさと・キャリア教育プロジェクト」

2021. 12. 13

担当：学びの場クリエイター 西村



12月8日（水）

田ノ口小学校「松田弦さんのギター演奏会」

先生は、黒潮町出身のプロクラシックギタリスト松田弦さん。クラシックギターの音色の豊かさ、色々な経験や、それぞれの曲の背景など、松田さんから、たくさんのことを学んだ時間でした。

・静けさの中に流れるようなやさしい音や、激しくカッコいい音、色々な弾き方。クラシックギターは自分のツメで弾くので、同じ楽器でも人それぞれの音になること。ギターは木で、弦は釣り糸と同じナイロンで（昔は羊の腸(ガット)で!!）できていること、など。



・演奏やお話を聴いて、次々に質問も出て、みんなの「興味津しんしん！」が伝わってきました。

「演奏の時にマスクをはずすのはなぜ？」（歌わなくても呼吸が大事なので、マスクだと苦しい）

「足台を使うのはなぜ？」（姿勢がまっすぐになり手が安定するから。なくても弾くことはできる）

「手は痛くないですか？」（ぜんぜん痛くない）

「ギターの弦は太さがちがうの？」（6本の太さがちがっていて、低い方が太くなっている）

「ギターに出会ったきっかけは？」（お父さんがギター好きでいつも弾いていた。6年生で始めた）

・目を閉じて音に集中して聴いた『白雨』では、「小さな雨から激しい雨に。ドラマにありそうなキレイな音」「ジープで砂漠を走っている風景」「ゲーセンのコンピュータの音」。先生方も、「ペ・ヨンジュンの韓国ドラマ」「お酒のCMのような…むずかしい恋愛」「冬の夕暮れ。後悔している人が一人雨の中を歩いている」と、様々な感性と表現が。

『同じタイミングで同じ曲を聴いても、感じ方はぜんぜん違う。みんな正解。想像するのはおもしろい』と、松田さんも、みんなの感性を楽しんでくれました♪



『最後の曲がかっこよくて、心に残りました』



松田さんの演奏を聞いたことがある人も



あの音楽を生み出す、プロの手とツメを見る



ギターの中の構造も見せてくれました



目を閉じて音を味わう。自由に想像する楽しさ



間近で見た手の動き。目でもたくさん感じたでしょう♪



感じたことを表現・質問できてよかったですね



「ギターケースのシールは何？」(行った場所のシールです)



サインは、中学生の時に作ったそうですよ！